

報告：第9号

6月11日（水）01 兵道顕司 議員 答弁資料目次（令和7年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
1-1	総合計画の推進について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
2-1	本市の子ども政策について	子ども未来部長	2
2-2	動物愛護の取組について	保健衛生部長	3
2-3	ふるさと甲府を愛する心の醸成について	市長	1
2-4	まちなかの回遊性の向上に向けた取組について	企画部長	4

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
3-1	下水道の全国特別重点調査の取組状況について	上下水道局 工務部長	1
3-2	路面下空洞調査について	まちづくり部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
4-1	学校給食費の無償化について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
5-1	子どもの読書活動の支援について	教育部長	1

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校給食費の無償化について

(1) 質問者 兵道 顕司 議員（公明党）

(2) 質問日 6月11日

(3) 答弁者 市長

(4) 担当課 学事課

(5) 質問概要

給食費の無償化についていつ実現に踏み切るのか、大いに関心のあるところです。
当局のお考えをお聞きます。

(6) 答弁内容

私は、次代を担う子どもたちが未来に向かって、夢や希望を持ちながら、心豊かにたくましく成長することを願い、こども育むまちを掲げ、各般の子ども・子育て施策を積極的に展開しているところであります。

学校給食費につきましては、地域によって格差を生ずることのないナショナル・スタンダードであるべきであり、本市においては、これまで、学校給食法により、施設・設備に要する経費や人件費等の運営費は本市が負担し、保護者の皆様には食材費のみを御負担いただいております。

また、就学援助制度により、学校給食費や学用品費などの支援を行うとともに、物価高騰に伴う給食の食材費の高騰分を本市が負担しているところであります。

こうした中、国においては、本年2月に、3党合意のもと、経済的事情による教育格差を是正し、子育て世帯への支援を強化する観点から、学校給食費の無償化について、学校給食法との関係や児童生徒間の公平性、支援対象者の範囲の考え方などを多角的に十分な検討を行い、小学校を令和8年度から、中学校もできる限り速やかに実現することとし、本年度の「経済財政運営と改革の基本方針」いわゆる「骨太の方針」に記載したうえで、令和8年度以降の予算に反映させることが表明されました。

このような国の取組と本市の考え方は、方向性を同じくしており、これまで本市が取り組んできた子育て支援施策を一層推進する必要がありますことから、私は、国の考えや施策を踏まえ小中学校の学校給食費無償化の実施に向けた検討を行うよう指示したところであります。

今後におきましては、国において進められている制度設計の内容の確認をするなどし、その検討を深めてまいります。

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

子どもの読書活動の支援について

- (1) 質問者 兵道 顕司 議員（公明党）
- (2) 質問日 6月11日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 図書館
- (5) 質問概要

第4次子ども読書活動推進計画が策定されたと伺っていますが、子どもたちの考える力を後押しするための図書の充実、特に学校図書の充実について、どのように取り組んでいるのか示してください。

(6) 答弁内容

本市におきましては、子どもの読書活動が効果的に推進できるよう、「家庭、地域、学校等との協働による読書活動の推進」や、「子どもの読書活動を支える環境整備・充実」、「子どもの読書活動に関する意義の普及・啓発」を目標に掲げる中で、令和7年3月に「第4次甲府市子どもの読書活動推進計画」を策定したところであります。

こうした中、市立図書館におきましては、生涯学習の情報拠点施設として、市民の文化や教養などに資する資料を広く計画的に収集する中で、子どもや中高生向けの本や子どもの特性に合わせた資料、電子書籍の整備に努めており、公民館図書室では、地域における子どもの読書活動を推進するため、定期的に市立図書館から司書を派遣し、蔵書の移管や図書の整理を行っております。

また、学校図書館におきましては、児童生徒の自発的かつ主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集、選択及び活用に関する能力を育成する場として、学習指導要領等を踏まえた図書の充実に努める中で、各学校図書館が連携した相互貸出や、一人一台端末を活用した電子書籍サービスの利用促進を図っており、さらに、司書の幅広い視点で選定した子どもに勧めたい本や、子どもからリクエストのあった本を市立図書館から取り寄せ、貸し出しているところであります。

今後におきましても、子どもの読書活動を推進することで、豊かな創造力を育み、未来を切り拓いていく力を身に付けられるよう、図書環境の一層の充実に、鋭意取り組んでまいります。

報告：第9号

6月11日（水）03 木内直子 議員 答弁資料目次（令和7年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2	学校給食費の無償化について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	訪問介護事業所への支援について	福祉部長	1
2-2	グループホームの利用者負担軽減について	福祉部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	75歳未満への資格確認書の交付について	福祉部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1 4-2 4-3	こども誰でも通園制度について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1 5-2	夏休み期間中の放課後児童クラブについて	子ども未来部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
6-1	補聴器購入費用への助成について	福祉部長	1

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校給食費の無償化について

- (1) 質問者 木内 直子 議員（日本共産党）
- (2) 質問日 6月11日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

先月5月21日に学校給食無料にし隊の皆さんが「甲府市に住む全ての小中学生の学校給食費無償化を求める署名」を甲府市に提出しました。市長はこの署名に込められた市民の願いにどう答えますか。一刻も早く甲府市でも学校給食費を無償にすべきと思いますが市長の見解を求めます。

(6) 答弁内容

学校給食費につきましては、地域によって格差を生ずることのないナショナル・スタンダードであるべきであり、本市においては、これまで、学校給食法により、施設・設備に要する経費や人件費等の運営費は本市が負担し、保護者の皆様には食材費のみを御負担いただいております。

また、就学援助制度により、学校給食費や学用品費などの支援を行うとともに、物価高騰に伴う給食の食材費の高騰分を本市が負担しているところであります。

こうした中、協議が進められている国の考えや施策を踏まえ、小中学校の学校給食費無償化の実施に向けた検討を行ってまいります。

報告：第9号

6月11日（水）05 興石 修 議員 答弁資料目次（令和7年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
1-1 1-2	「県央ネットやまなし」の取組について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
2-1	改正戸籍法による戸籍への振り仮名記載の対応について	市民部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
3-1 3-2	リニア駅周辺のまちづくりについて	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
4-1 4-2	「こうふデマンドタクシー」について	リニア交通政策監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
5-1	資源物ステーションの設置について	環境部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
6-1	ランドセルの無償配布について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
7-1 7-2	（仮称）甲府市子ども応援拠点施設について	子ども未来部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
8-1	住吉地区への小中一貫校の設置について	教育長	1

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

ランドセルの無償配布について

- (1) 質問者 興石 修 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 6月11日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

子ども最優先の市として、甲府市もランドセルによる家計負担の軽減と、ランドセル症候群への対応としてランドセルの無償配布を考えて頂けないでしょうか。市長のお考えをお聞かせ下さい。

(6) 答弁内容

近年、教科書の大判化やページ数の増加、一人一台端末の持ち帰りなどにより、ランドセル等の荷物が重くなり、安全面や健康面への影響が懸念されているところであります。

こうした中、本市におきましては、通学用かばんについては、各小学校においてランドセルに限定せず、両手が空き背負えるタイプであれば、布製のかばんやリュック等も可とする柔軟な対応を図るとともに、すべての教材を持ち帰るのではなく、家庭学習に必要となる教材のみを持ち帰るよう、指導しているところであります。

また、就学援助制度の入学準備費を令和6年度から増額する中で、ランドセルなどの購入を支援するとともに、学用品等リユース事業において、ランドセルや体育着などの提供を行っております。

今後におきましても、通学時の負担軽減に向けた取組を進めるとともに、就学援助制度や学用品等リユース事業のさらなる周知を行い、子どもたちが健康で楽しい学校生活を送れるよう努めてまいります。

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

住吉地区への小中一貫校の設置について

- (1) 質問者 興石 修 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 6月11日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 総務課
- (5) 質問概要

私は甲府市にも、小中一貫校を住吉地区に設置することを検討して頂きたいと考えます。設置場所は、住吉中継ポンプ場（東部浄化センター）が適地だと考えます。面積は28,600㎡あり、市内で一番面積が大きい大里小学校（21,639㎡）の約1.3倍以上の面積があります。

(6) 答弁内容

人口減少や少子化の影響により、本市の児童数の減少が進む中、南部地域や東部地域の一部の小学校は、児童数の増加に伴う大規模化が進んだことから、良好な教育環境を整備するため、山城小学校や玉諸小学校などにおいては、校舎の増築を行うとともに、調整区域を設定してきたところであります。

また、令和5年度には、過大規模校である山城小学校の児童が児童数の減少傾向が顕著な湯田小学校に就学できる、通学区域の弾力化を導入いたしました。

こうした中、本年度の児童数は7,216人となり、昨年度と比べ、109人減少しており、これまで増加基調であった山城小学校も減少に転じ、玉諸小学校においては、近年、児童数の減少傾向が続いております。

住吉地区への小中一貫校の設置につきましては、今後におきましても、引き続き、児童生徒数の推移を注視するとともに、地域の実情を把握するなどし、通学区域の弾力化や調整区域の設定といった現状の取組を行ってまいります。

報告：第9号

6月12日（木）03 堀とめほ 議員 答弁資料目次（令和7年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	職員の仕事と介護の両立支援制度に係る周知について	総務部長	1
1-2	介護に備えるための家族介護教室の実施について	保健衛生部長	2
1-3	法改正の周知状況とビジネスケアラーへの対応について	企画部長	3

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2 2-3 2-4	一人一人に応じた多様な学びについて	教育長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1 3-2 3-3	ひきこもりへの更なる理解と支援について	市長	1

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

一人ひとり応じた多様な学びについて

- (1) 質問者 堀 とめほ 議員（公明党）
- (2) 質問日 6月12日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

不登校対策推進校の指定により、本市の不登校対策を進める上でどのような成果が得られ、具体的な取り組みにつなげているのか伺います。

また、本市の直近で掌握されている不登校児童生徒数と、その傾向性についてお示し下さい。

更に、不登校の状態から再び登校できるようになった児童生徒への学習サポートはどのようにされているのか伺います。

県と連携し、学びの多様化学校と夜間中学校の併設校の本市への設置を力強く進めていくべきと思いますが、ご見解を伺います。

(6) 答弁内容

文部科学省が昨年10月に公表した令和5年度の全国の小中学校における不登校児童生徒数は、約34万6,000人で過去最多となり、本市の小中学校においても、567人と同様の状況であり、増加傾向が続いております。

こうした中、本市におきましては、令和5年度と令和6年度に北西中学校と南西中学校を不登校対策推進校に指定する中で、校内教育支援センター「ほっとルーム」を設置し、自分のクラスに入りづらい生徒が、落ち着いた空間の中で安心して学習や活動ができる場の提供を行い、休みがちだった生徒がほぼ毎日登校できるようになったり、自分の教室で授業を受けられるようになったりするなど不登校生徒の状況が改善されたことから、これまでに、設置校を8校としたところであります。

また、一人一台端末を活用して児童生徒の心身の状態を把握する「きもちメーター」や個々のデータに基づいて不登校になる可能性がある生徒の早期発見等を行う「スクリーニングシート」の実証を行い、きめ細やかな声かけや生徒の相談への素早い対応により、不登校の未然防止に効果があったことから、「きもちメーター」は令和6年度から全小中学校に、「スクリーニングシート」は本年度、二学期から全中学校に導入することとしました。

報告：第9号

学校に復帰した児童生徒への学習サポートについては、きめ細かな教育を行う学習指導員や教育支援ボランティアの活用をはじめ、学級担任や教科担当などによる放課後や「ほっとルーム」での個別学習支援を行っているところであります。

不登校の児童生徒等の受け皿となる「学びの多様化学校」と「夜間中学校」につきましては、山梨県は「学びの多様化学校」を設置する方針を示し、有識者による協議会を立ち上げ、設置主体や設置形態、目指す学校像等、さらには、夜間中学の併設について検討し、夏頃を目途に一定の結論を得たいとしており、本市におきましては、こうした県の取組や協議会の検討状況を注視してまいりたいと考えております。

今後におきましても、不登校児童生徒が増加する中、支援が必要な子どもたちが学びたいと思ったときに学べる環境づくりに鋭意努めてまいります。

報告：第9号

6月12日（木）05 内藤司朗 議員 答弁資料目次（令和7年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
1-1	草木の分別回収・リサイクルについて	環境部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
2-1	（仮称）甲府市子ども応援拠点施設について	子ども未来部	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
3-1	学校体育施設のスポーツ開放に係る備品について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
4-1	アニメの聖地巡礼による誘客促進について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
5-1 5-2	デザインマンホールの活用について	上下水道局 業務部長	1

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校体育施設のスポーツ開放に係る備品について

- (1) 質問者 内藤 司朗 議員（日本共産党）
- (2) 質問日 6月12日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 スポーツ課
- (5) 質問概要

現在、学校体育施設にある備品は、学校の備品・管理となっているため、利用者から修繕等の要望が出て、学校予算の少なさを理由に、要望に十分にこたえられていないと聞いています。社会スポーツに使用する用具・備品などは、市と学校が連携する中で管理をおこない、市の予算で要望にこたえるべきではありませんか、見解をもとめます。

- (6) 答弁内容

学校体育施設は、小中学校の体育の授業や部活動など、学校教育における体育活動の場として利用されるだけでなく、地域住民へのスポーツ開放など、社会教育の場としても活用されております。

学校体育施設に配備している備品は、学校教育用として学校の管理下にあり、修繕や更新に際しては、学校の予算で対応しており、一方で、これら備品の中には、配備から数十年が経過しているものも見られ、経年劣化等による不具合も増加傾向で、授業で使用できないなど、緊急性があるものについては個別に対応しているところであります。

今後におきましても、各備品の使用実態や老朽化の状況等の把握に努めるとともに、学校教育と地域スポーツ振興の両立を図る観点も踏まえながら、優先度を見極め、計画的な修繕等を行ってまいります。

報告：第9号

6月13日（金）01 鷹野弘貴 議員 答弁資料目次（令和7年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
1-1	人口減少対策について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
2-1	学校現場における雷災害への備えについて	教育長	1
2-2	落雷に対する注意喚起について	危機管理監	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
3-1	学校教育の充実について	教育長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
4-1 4-2 4-3	甲府市消防団の定員割れと分団再編の必要性について	危機管理監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
5-1 5-2	マイナンバーカードの活用による自治体ポイント制度の導入について	総務部長	1

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校現場における雷災害への備えについて

- (1) 質問者 鷹野 弘貴 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

令和7年4月10日午後6時前、奈良市の帝塚山学園グラウンドにおいて、雷が直撃し、男子中学生5人、女子高校生1人、計6名が病院へ搬送されるという重大な事故が発生いたしました。教育委員会では今回の事故をどう受け止めておられるのか。また、学校現場における雷対策をどのように講じているのかお聞きいたします。

(6) 答弁内容

近年、温暖化による環境変化に伴い、年々全国での発生件数が増加している落雷は、場所や時間を特定した予測が困難とされており、児童生徒の命に関わる事故になる可能性が高いことから、その未然防止対策が大変重要であると考えております。

こうした中、本市におきましては、文部科学省の「学校の危機管理マニュアル作成の手引」に基づき、各小中学校で作成している「危機管理マニュアル」により、事前の気象情報の確認をはじめ、天候の急変などの場合には活動を中止する等の対策を講じるほか、児童生徒に対しては、雷鳴が聞こえた場合は、鉄筋コンクリートの建物内部へ避難するなど、落雷事故の未然防止に向けた安全指導を行っているところであります。

また、奈良市の学校で発生した落雷事故を受け、本年4月に出された文部科学省の通知により、各小中学校に対し、落雷事故の防止に係る留意点を改めて周知するとともに、雷の可能性を解析し、その1時間後までの予測を行う気象庁の「雷ナウキャスト」の活用などを「危機管理マニュアル」の見直しを指導したところであります。

今後におきましても、各小中学校における「危機管理マニュアル」の運用を徹底する中で、児童生徒が安全・安心に学ぶことができる環境整備に取り組んでまいります。

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校教育の充実について

- (1) 質問者 鷹野 弘貴 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

令和7年度における学校教育の充実に向けた取り組みについて、教育委員会のご所見をお伺いします。

- (6) 答弁内容

本市教育委員会におきましては、「思い遣る心」の育成や「生きる力」を育む教育の展開を「甲府市 学校教育指導指針」の重点目標に掲げ、豊かな感性とたくましい行動力を持ち、互いのよさを認め合いながら、進んで自己の課題に取り組むことのできる、心身共に健康な児童生徒の育成を目指してまいりました。

こうした中、令和7年度におきましては、不登校児童生徒への対応として、新たに中学校3校に校内教育支援センター「ほっとルーム」を増設し、市内全体で8校とする中で教室に入りづらい生徒の居場所とするとともに、スクールソーシャルワーカーを1名増員し、児童生徒を取り巻く環境への支援体制の充実を図ってまいります。

また、1人1台端末の利用履歴を蓄積した「教育ビッグデータ」を活用し、児童生徒が可視化された学習状況を確認することや、生活の記録を振り返ることで、よりよい学びや学校生活につなげていくとともに、教員のその後の学習指導や生徒指導に引き続き活用してまいります。

さらに、幼児教育と小学校教育の円滑な接続による教育の充実を図るための「幼保小の架け橋プログラム」について、学識経験者や幼保小、関係機関の代表者で構成する協議会を立ち上げる中で、子どもが安心して学校生活をスタートできる「架け橋期のカリキュラム」を作成してまいります。

加えて、中学校の休日部活動の地域移行について、本年度、3種目から8種目に拡大し、生徒がスポーツに親しむ機会の確保や教員の業務負担の軽減により一層取り組んでまいります。

今後におきましても、次代を担う子どもたちの資質と能力を育み、夢に向かっていきいきと学べる学校づくりに努めてまいります。

報告：第9号

6月13日（金）02 中 畠 寿 議員 答弁資料目次（令和7年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2 1-3	持続可能な自治会活動への支援について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2 2-3	避難行動要支援者名簿の運用について	危機管理監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1 3-2	学校グラウンド内のトイレの整備について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	マイナンバーカードを使用した選挙投票について	選挙管理委員会 委員長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	学校体育館の空調設備の電力について	教育部長	1
5-2	小水力発電設備の整備について	環境部長	2

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校グラウンド内のトイレの整備について

- (1) 質問者 中 寫 寿 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 スポーツ課
- (5) 質問概要

学校グラウンド内に男女別のトイレが設置されている小学校は何校あるのか。男女別トイレの必要性和、設置されていない小学校のトイレを今後どのように整備していくのか、本市の見解を確認させてください。

- (6) 答弁内容

小学校のグラウンドに設置している社会体育用の屋外トイレは、学校教育に支障のない範囲のスペースを確保する中で、現状の機能の施設として設置してきたところがあります。

男女別トイレの設置数につきましては、校舎の新築や大規模改修等の際、新たに設置した千塚小学校や羽黒小学校、中道北小学校のほか、併設する児童館の屋外トイレを活用している中道南小学校の4校となっております。

また、男女別トイレについては、利用者のプライバシーを保護するうえでは、望ましい施設であると考えておりますが、文部科学省が推奨するトイレの洋式化を利用状況を踏まえる中で、年次的に進めているところであります。

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校体育館の空調設備の電力について

- (1) 質問者 中 寫 寿 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 教育施設課
- (5) 質問概要

本市は、今年度に避難所環境整備として、学校体育館に空調設備設置にむけた調査研究を進めていますが、体育館の断熱材使用割合のほかに、体育館の面積や天井の高さ、窓や開口部の広さなどの条件によって使用電力は変わってきます。

電力については、一般電力や太陽光発電などと、いろいろな観点から調査研究が進められると思いますが、本市の自然環境にあった小水力発電（水車型やタービン型）も考えていただきたいと思います。

学校体育館の空調設備の電力について、現時点ではどのように考えているのか。

- (6) 答弁内容

本市ではこれまで、大規模改修工事などにおいて、校舎や体育館の照明器具をLED化するとともに、山城小学校の校舎増築においては、太陽光発電設備を設置し、省エネ性能の高い設備機器を採用するなど、電力にも考慮する中で、整備を行ってまいりました。

学校体育館の空調設備の電力につきましては、現在、体育館の面積や高さ、断熱材の使用状況等に応じた、最適な空調方式等の検討を行っている専門業者からの提案等を踏まえ、総合的な観点から検討してまいります。

報告：第9号

6月13日（金）04 山田弘之 議員 答弁資料目次（令和7年6月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	就労継続支援事業所について	福祉部長	1
1-2	放課後等デイサービスの指導について	福祉部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	公民館へのWi-Fiの設置について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1 3-2	防災備蓄資機材の取扱いについて	危機管理監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	創作の森おびなの整備について	産業部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	「こうふ亀屋座」と「小江戸甲府 花小路」について	市長	1

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

公民館へのW i - F i の設置について

- (1) 質問者 山田 弘之 議員（無所属）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 生涯学習課
- (5) 質問概要

公民館にW i - F i 環境は早急に必要と考えますが当局のお考えをお聞かせ下さい。

- (6) 答弁内容

本市では、地域住民の学習や地域づくり活動を支える社会教育施設として市内9か所に公民館を設置し、「甲府市生涯学習ビジョン」のもと、いつでもどこでも誰もが学べる環境づくりを推進しております。

こうした中、公民館へのW i - F i の設置は、オンライン会議やリモート学習など生涯学習としての新たな学びや活動の幅が広がるものと考えております。

一方、継続的なコストを伴うW i - F i 設置が効果的に活用されるためには、利用者のニーズを捉えていく必要があることから、現在、アンケート調査を実施しているところであり、この結果や、他都市の利用頻度等を踏まえるなかで、今後判断してまいります。

報告：第9号

6月13日（金）05 村松裕美 議員 答弁資料目次（令和7年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
1-1 1-2	新型コロナワクチン等について	保健衛生部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
2-1 2-2 2-3 2-4 2-5 2-6 2-7	性的マイノリティの方々への理解啓発について	市民部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
3-1 3-2	郷土愛の醸成等とフリースクールの出席扱いについて	教育長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
4-1 4-2	不登校を防ぐ取組について	教育長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
5-1	デジタルデトックスについて	教育長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
6-1	国民健康保険における外国人滞納者への対応について	市長	1

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

郷土愛の醸成等とフリースクールの出席扱いについて

- (1) 質問者 村松 裕美 議員（無所属）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

様々な理由で学校に行けない子供達にとって、フリースクールの存在が大切であることに異議はありませんが、フリースクールは、学校復帰を目指すところもあれば、学校に行くことを重要視していないところもあり、そこで過ごす期間は長期化することが想像できます。また、学習は様々な形で保障できたとしても、義務教育の教育目標である、我が国の伝統や文化、郷土を愛する心を育むこと、国旗や国歌に触れることが全くなされず大人になる子供達が、今後増えていくことを心配しております。

この大事な目標に、触れることができずに育つ子供達が増えていくことについての教育委員会の見解をお聞かせください。

また、フリースクールの出席扱いの要件に、教育目標に準じていることも加えるべきではないかと考えますがいかがでしょうか。

(6) 答弁内容

本市教育委員会では、「甲府市学校教育指導指針」の重点目標である「思い遣る心の育成」への取組として、伝統・文化に関する教育や郷土愛の醸成に努めているところであります。

各小中学校では、不登校児童生徒に対しまして、個々の状況に寄り添い、オンライン授業や地域学習、地場産品作成の体験活動、修学旅行等の学校行事への参加を通して、伝統文化についての学習機会を設けており、また、「あすなろ学級」においても、曽根丘陵公園への校外学習や陶芸教室といった体験活動を行っているところであります。

さらに、フリースクールにおいては、その実態や希望に合わせて様々な学習や活動等を行い、これらが、伝統文化に触れ、郷土愛を醸成する機会となっております。

なお、フリースクール等における出席扱いの要件は、必ずしも関係法令等に定められた教育の目標・内容の全てを実践することを必要とせず、社会的自立を目指す相談支援が適切に実施され、保護者と学校との間に十分な連携協力体制が保たれていることなどを校長と教育委員会で判断することとしております。

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

不登校を防ぐ取組について

- (1) 質問者 村松 裕美 議員（無所属）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

不登校になる前の支援について、子供達が落ち着いて、自ら教室に向かえるまで寄り添って待つてあげられる支援が必要であり、そのためには子供達に寄り添うボランティアを募ったり、校舎外に心を落ち着かせられる場所を設けたりするなどの、未然に防ぐ支援が早急に必要ではと考えますが見解を伺います。

また、八王子市では、教室が苦手な子供達に給食センターを解放し、自由に給食を食べに来られるようにしたことで、訪れる子が増加し、給食をきっかけとして外に出られるようになる子供が増えているようです。

あすなろ学級を気軽に行ける居場所に変えることで、公的な支援を受けられる子が増えると考えますが、その一歩として、学校に行けない子供達も給食をあすなろ学級で食べられるような取り組みを考えませんか。

(1) 答弁内容

不登校児童生徒の中には、学校に登校できるものの、校地内や校舎内に入ることに抵抗を感じている子どもがおります。

こうした児童生徒への対応につきましては、各小中学校において、学級担任や養護教諭、特別支援教育支援員、教育支援ボランティア等による組織的な対応のほか、スクールソーシャルワーカーの登校支援などを行い、きめ細かなサポートに努めてところであります。

また、あすなろ学級における給食の提供については、給食を配送する手段をはじめ、それに伴う衛生面や残食の処理など、課題があることから困難であると考えております。

今後におきましても、不登校対策については、当該児童生徒や保護者の意向に寄り添いながら、適切な支援に鋭意努めてまいります。

報告：第9号

令和7年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

デジタルデトックスについて

- (1) 質問者 村松 裕美 議員（無所属）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

昨年、大里、山城小学校、城南中学校では、「Noゲーム Noスマホ 週間」が設けられ、家庭で期間中一日でもデジタルデトックス取り組んでほしいという取り組みがあり、大変素晴らしい取り組みだと思います。そこで、ぜひ家庭だけでなく、学校でも、月に一日でいいので、デジタルデトックスに取り組んでほしいと思います。

デジタル漬けの子供達に、せめて月一日でもデジタルデトックス日を学校で設けてほしいと思いますが、いかがでしょうか。

(6) 答弁内容

本市におきましては、令和3年9月に策定した「甲府市GIGAスクール推進ビジョン」において、これまでの教育実践とICTを最適に組み合わせるハイブリッド化により、教育の質の向上を図ることを目的に、各小中学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「甲府スタイル」の授業づくりに取り組んでおります。

また、児童生徒が自分の考えを伝え合い、意見をノートにまとめる活動や、教師が黒板に学びの流れ等を板書するといったアナログ的な授業と、マット運動等において、撮影した動画で自分の動きを確認し、直ちに改善点を踏まえた練習を行うといったデジタル的な授業を、学習のねらいや場面に応じて使い分けることによりどちらかに偏ることなく、誰もが可能性を伸ばせる教育を推進しております。

さらに、健康面に配慮した取組も重要となることから、目の負担軽減を図るフィルムを端末画面に貼るとともに、端末画面と目の距離は30センチメートル以上離す、30分に1回は20秒以上遠くを見て目を休める、就寝1時間前からは端末画面を見ないなどを指導しているところであります。

今後におきましても、児童生徒の学習特性を見据えたアナログとデジタルの豊かな共存や融合の視点を持った授業づくりを行ってまいります。